

在宅医療・介護多職種連携協議会 多職種連携・情報共有システム部会 ～報告～

部会の目的

在宅医療に係る多職種連携の推進及び情報共有システムの効果的な活用について検討する。(試行WG, 試行WG評価チームの発展形)

- 症例を通じた多職種連携ルールの検討
- 好事例を基にした情報共有システムの活用方法の検討

内容

第3回部会

参集形式
(令和7年2月4日)

- 1 報告 (1) 令和6年度個人情報保護研修会実施結果について
(2) 令和6年度現況届の提出状況について
- 2 議事 カシワニネットを効果的に活用してもらうための取り組みを検討する

報告1 | (1) 令和6年度個人情報保護研修会実施結果について

■ 研修の目的

- ・ カシワニネットの利用において、患者一人一人の個人情報を取り扱うことから、利用する各職種が、個人情報保護に対する意識と知識を高めること
- ・ 一人でも多くの利用者に受講してもらい、研修を契機に適切な個人情報の取扱いを意識し、実践してもらうこと

■ 実施概要

	概要
期間	令和6年11月5日（火）～26日（火）
受講対象事業所	487事業所
受講対象者	2,068名 （内訳：カシワニネット担当者 462名 一般受講者 1,606名 ）
受講促進策	①カシワニネット担当者へ受講促進のお願い ②研修の周知，システム操作マニュアルの工夫 ③インセンティブの発行（確認テスト合格証，優良事業所※認定証 等） ※全てのカシワニネット登録者が受講を終えた事業所 ④研修期間終了後のアーカイブ配信

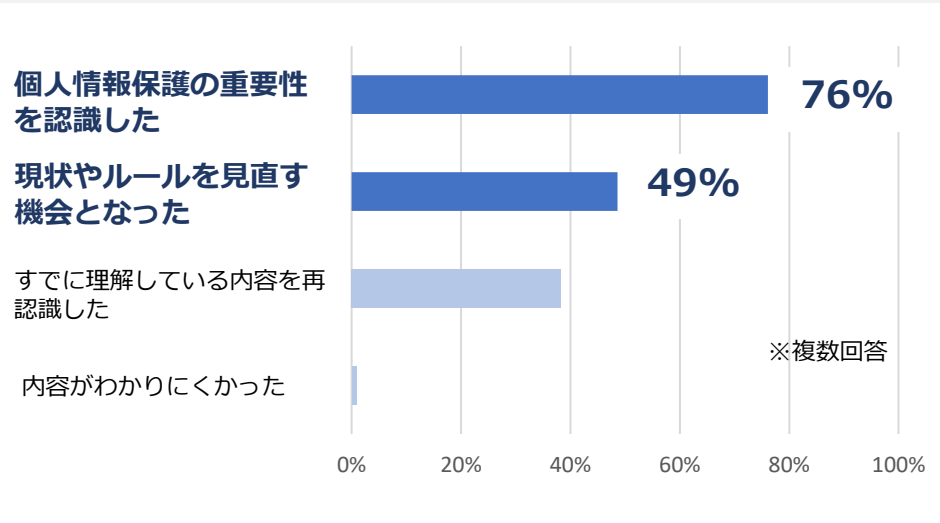
■ 実施結果

- ・事業所の受講率は昨年度より**4ポイント増加**し、受講対象者全員が受講した事業所（＝優良事業所）は**6ポイント増加**した
- ・受講修了者は全体で昨年度より**7ポイント増加**し、全体およびカシワニネット担当者、一般受講者の受講率は**6割を超えた**

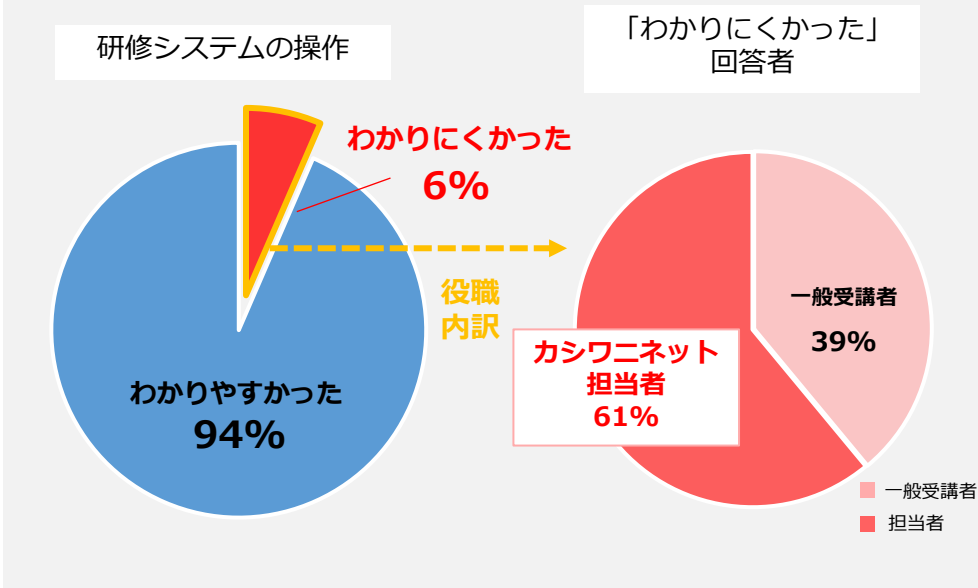
	令和6年度	令和5年度
受講修了事業所数	<u>331事業所（約68%）</u> N=487	296事業所（約64%）
全員受講の事業所数	245事業所（約74%） N=331	200事業所（約68%）
受講修了者数（受講率）	<u>1,285名（約62%）</u> N=2,068	1,172名（約55%）
カシワニネット担当者	278名（約60%） N=462	261名（約56%）
一般受講者	1,007名（約62%） N=1,606	911名（約54%）
アンケート回答者数	<u>916名（約71%）</u> N=1,285	1,028名（約88%）

■ アンケート結果のまとめ

① 研修目的の達成状況



② 研修システムの操作



③ プラスワン動画（内容：今、あらためて、カシワニネットの基礎知識）

- ・ 受講修了者1,285名のうち722名（56%）が視聴し、ほとんどが「参考になった」と回答した
- ・ カシワニネットの利用頻度が少ない方から多い方まで、それぞれの利用状況に応じた気づきや今後の活用に前向きな意見が多かった

■ 研修総括

- ・ 本研修は個人情報保護に対する**重要性を再認識する機会**，今後の業務の**危機管理等に繋がる場**となった
- ・ 研修の受講率を向上させ，継続して受講するには，**システムの操作等を簡易化し，負担のない受講環境を整備**していくことが重要である
- ・ 研修の機会を利用し，**カシワニネットの効果的な活用に関する動画の配信を継続**する

(2) 令和6年度現況届の提出状況について

■ 内容

- ・ カシワニネット利用にあたり、**個人情報**の適正な取扱いの観点 から **登録状況（職員の追加登録，削除，事業所情報）の確認** のために **現況を届け出てもらう** もの
- ・ 職員の異動等が多い**4月頃に実施** している
- ・ 今年度は**475事業所が対象**



9月末までに全ての事業所にご提出いただきました
ご協力いただきありがとうございました

カシワニネット



----- R7年度現況届の実施について -----

次年度は4月頃に現況届の提出について依頼を行う予定です
次年度も引き続き、ご協力いただきますようお願いいたします

■ R6～R7年度の部会のテーマ

多職種連携においてスムーズな情報共有を行うために、カシワニネットの効果的な活用に関する取り組みを検討し実行する

R6年度

R7年度

第1回

7月中

第2回

第3回

現状把握に向けての検討

現状把握

現状分析

目標の設定

課題抽出

取組の検討

取組の実施

効果確認

- ・ アンケートの内容(案)を確認
- ・ インタビューの内容を検討

アンケート、インタビューの実施

アンケート・インタビューの結果から、カシワニネットの現状を把握し、どのように活用すればよいかを検討する

第2回で出た意見を踏まえ、課題を整理する

- ・ 事務局で整理した課題の確認
- ・ 具体的な取り組みの検討

■ 結果

① 課題の確認

① 操作について

- ・ 使い方がわからなくてログインしない人が多い
- ・ カシワニネットの使い方がわからない方は、レクチャーなどの場を作った方がよいのか

② お部屋の活用について

- ・ 活用事例を知りたい人が多いのではないのか

③ 病院との連携について

- ・ 病院との連携ができるとよい（MSW等にもっと参加いただきたい）

④ 多職種連携における情報共有の仕方（マナーなど）について

- ・ 情報共有が必要と思えばカシワニネットへ投稿すればよい
- ・ カシワニネットへ投稿しているのに返事がないと不安になる

⑤ 業務負担などについて

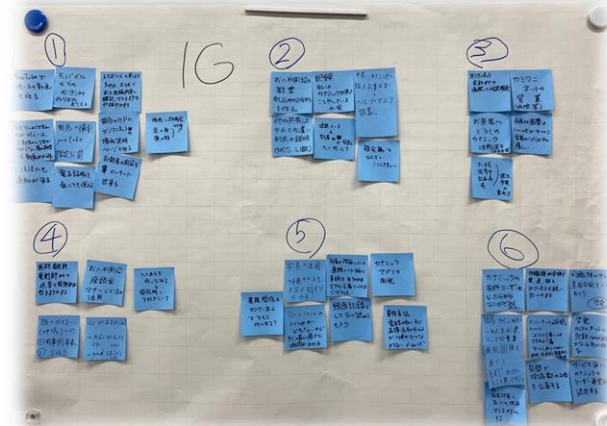
- ・ 部屋があっても電話やFAX等で情報共有している人が多い

⑥ 啓発などについて

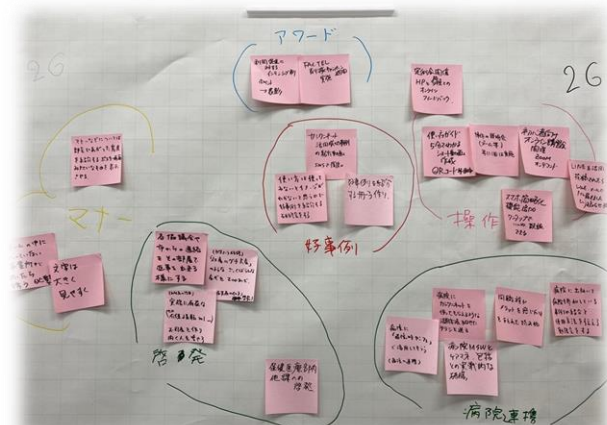
- ・ 他のツールを使っている方、カシワニネットに興味がない方（無関心層）に啓発を行う必要がある

② 具体的な取組の意見出し（グループワーク）

1 グループ



2 グループ



<カシワニネットの登録・操作・活用方法の支援>

○ 利用促進および操作への負担感，苦手意識を軽減する取り組みを行っていく

→活用度（初心者～上級者）に応じた 操作・活用方法を学べる機会の提供

【例】 内容…ログイン方法，お部屋の活用方法・好事例紹介
手法…研修会の実施，動画の配信，マニュアル（冊子）の作成

【意見】 ・ID取得しても活用に繋がらない人達に対して働きかけが必要ではないか
・登録申請やログイン方法がわかりづらい
・お部屋開設の流れがわかりづらい

<病院との連携での活用>

○ 在宅療養の支援において，病院との連携は重要と考えるため，病院がうまく活用できるような支援や取り組みを行っていく

→病院が参加する研修会などで，病院と在宅との カシワニネットを使った連携事例の紹介

【意見】 ・柏市における多職種との情報共有ツールとしてカシワニネットが浸透していないのではないかと
・入退院時等の連絡調整の際にカシワニネットを活用することで業務負担を軽減できるのではないかと
→患者の状態等を情報共有するほか，書類・写真・動画等を送ることができる，オンライン会議の機能 等

<その他>

○ 活用に応じたインセンティブを検討する

○ 既存の研修会などでカシワニネットの活用に関するテーマをあげる

【意見】 ・投稿やお部屋の活用頻度に応じて表彰や公表などをしてはどうか
・活用のディスカッションなどは，多職種に対する啓蒙・啓発の場として顔の見える関係会議などが有効ではないか

■今後の予定

- 正副部会長と事務局で次年度優先的に取り組む内容を検討する
- R7年度第1回部会（5月～6月頃実施予定）
カシワニネットの効果的な活用に関する取り組みを実行する